



目次

- 「くりこま絆の森植樹プロジェクト」に参加しませんか p1
- 第14回栗原市畜産共進会が開催されました！ p2
- 「花山ルビィふさめぐり」で、地域を元気にしよう！ p4
- くりはらの夏野菜ズッキーニは県内一の産地 p5
- 若柳大橋・川南高架橋の耐震化工事等を進めています！ p6
- 「国土強靱化」河川の支障木撤去を行います p7
- 「道路クリーンキャンペーン」を実施しました p7
- 2019年夏休み！親子現場見学会を実施しました p8
- 農地集積担当者研修会を開催しました！ p9
- 保育従事者を対象に「感染症対応研修会」を開催しました p10
- くりこま夜市で苔テラリウムを販売しました p11
- ツール・ド・いちほさま2019が盛大に開催されました p12
- 【観光情報】「2019 栗駒耕英岩魚祭」が開催されます p13
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p14



「くりこま絆の森植樹プロジェクト」に参加しませんか

北部土木事務所栗原地域事務所

平成20年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」による犠牲者の鎮魂と失われた緑地の再生、堆積した土砂の流出防止を目的に、土砂災害により被災した耕英東地区（駒の湯温泉）において植樹会を開催します。

この取組は平成25年から実施しており、「宮城県砂防ボランティア協会」や「栗駒自然を守る会」のほか、県及び栗原市職員などが参加し、ブナやホオノキ等の苗木を植樹しています。昨年は約100名が参加し、苗木約1,000本を植樹しました。

取組に賛同される方は、個人・団体を問いませんので、ぜひ参加してみませんか。

なお、開催は10月30日（水）を予定しておりますが、10月までの気候の状況により、前後する場合があります。詳しい内容については、下記までお問い合わせ下さい。



昨年の開会式の様子



昨年の植樹の様子

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel : 0228-22-2193

第14回栗原市畜産共進会が開催されました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

令和元年7月6日（土）、栗原市築館の新みやぎ農協栗っこ畜産センターにおいて、第14回栗原市畜産共進会（主催：栗原市農業振興協議会）が開催されました。乳用牛は、5つの審査部門に21頭が出品され、一迫地区の(有)小山牧場さん所有の育成牛「アイスビレッジ アテイツクアリス号」及び経産牛「アイスビレッジ マスタービーズゴールド号」が名誉賞を受賞しました。また、肉用牛は、個体審査部門に35頭、群出品部門に3組8頭が出品され、金成和牛改良組合の須藤正寿さん所有の若雌牛「しおり号」が名誉賞を、金成和牛改良組合が団体賞を受賞しました。



乳用牛の部 経産2部門 名誉賞
「アイスビレッジ マスタービーズゴールド号」



肉用牛の部 若雌2部門
名誉賞 「しおり号」

乳用牛の部は9月25日（水）、肉用牛の部の入賞牛は9月14日（土）に美里町の「みやぎ総合家畜市場」で開催される宮城県総合畜産共進会へ出品される予定です。

また、9月14日（土）には、県共進会会場において牛肉試食会や地場産品、牛肉、鶏卵等の販売会も開かれますので、お楽しみください。詳しい内容は、一般社団法人宮城県畜産協会ホームページ（<http://miyagi.lin.gr.jp/>）をご覧ください。

■お問い合わせ 畜産振興部畜産振興班 Tel：0228-22-2487

農林水産祭参加 令和元年度

宮城県総合畜産共進会

肉豚の部 出品予定頭数 75 セット(150頭)

受賞授与式 **9月6日金 AM 11:30~**

会場: 登米市 株式会社 宮城県食肉流通公社

肉用牛の部 出品予定頭数 106頭

個体審査 **9月13日金 AM 11:30~**

比較審査 **9月14日土 AM 9:30~**

会場: 美里町 みやぎ総合家畜市場

乳用牛の部 出品予定頭数 98頭

比較審査 **9月25日水 AM 9:30~**

会場: 美里町 みやぎ総合家畜市場

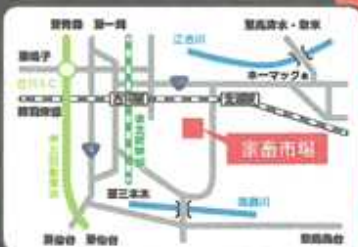


販売会同時開催

牛肉試食会・地場産品
牛肉・鶏卵販売 等

令和元年 **9月14日土**
AM 9:30~

*試食は午前中のみ開催となります。
*販売会は午前中に限り受付となる場合があります。



主催 一般社団法人 宮城県畜産協会

代 理 全農グループ(全国農業協同組合連合会宮城県本部、JAS全農東北東北支部(協和株式会社)、宮城県農業振興協会、宮城県農業共済組合、みやぎの肉畜農業協同組合、宮城県酪農業協同組合)
協 賛 1社牛経営者委員会、宮城県経営者連盟、1社牛協会、宮城県牛経営者協議会、宮城県和牛産銷協議会、宮城県牛乳産銷協議会、宮城県酪農業協同組合、宮城県牛乳協会
以暨社団法人 みやぎ畜産振興公社、社団法人 みやぎ畜産流通協会、一般社団法人 宮城県和牛飼料産銷協議会、株式会社 宮城県畜産流通公社、協賛中央畜産流通社 株式会社
石巻市農業センター 株式会社、宮城県農業人工物産振興協会、宮城県ホルステッド協会
後 援 宮城県、美里市、登米市、美里協同組合、美里町

「花山ルビィふさすぐり」で、地域を元気にしよう！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

中山間地域である花山地区に元気を取り戻す、活性化への支援が急がれるところです。当事務所では、ヨーロッパ原産の酸味ある赤い果実【ふさすぐり（レッドカーランツ）】を通じた地域支援に取り組んでいます。

花山の隠れた特産品【ふさすぐり】は、収穫に手間がかかることが大きな課題です。そこで、収穫時期の6月下旬から7月上旬に「収穫応援バスツアー」「援農ボランティア」を企画し、仙台圏や栗原地域の生活者に参加を呼びかけました。その結果、小学生から60代まで幅広い年齢層の男女35人が、短い収穫時期に不足する収穫のための労働力をご提供いただき、また、マスコミの取材もあり「花山ルビィふさすぐり」を広くPRをすることができました。

お盆前の8月10日～12日には、栗原と仙台の洋菓子5店舗に御協力いただき、ふさすぐりを使用した洋菓子を販売する「花山ルビィふさすぐりフェア」を初めて開催しました。購入して食べてくださったお客様が、どのような感想を持たれたか気になるところです。

また、ふさすぐり新商品・新用途開発を目指し「ブランディング検討会」を行っています。この中で外部専門家と生産者や地元関係者が「花材としての需要はないか？」等の様々なアイデアを検討しています。まだ“企業秘密”につき、内容はお知らせ出来ませんが、今後の取組にご期待下さい。

また、収量品質を向上するための剪定(せんてい)指導や、新しい栽培者・園地の掘り起こしを支援する活動も行っています。来年の6～7月には、より多くの方々が【花山ルビィふさすぐり】に出会い、花山地域の元気が増えることを期待しております。



援農バス参加者による収穫応援



花山ルビィふさすぐりを使用したケーキ

■お問い合わせ 農業振興部地域農業班 Tel : 0228-22-9437

くりはらの夏野菜ズッキーニは県内一の産地

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市では、生産者、農協、市役所、当事務所が一体となり、ズッキーニの生産拡大に取り組んでいます。平成30年のズッキーニ販売額は5年前から4倍以上に増加しており、県内一の産地になっています。当地域では販売金額1億円を目標に生産拡大と生産地のPRによる消費拡大を進めています。

今年度、当事務所では、ズッキーニの生産拡大に向け、新規作付者向け栽培講習会の実施や未作付者への声かけによる栽培面積の拡大を図るとともに、栽培講習会、現地検討会、巡回指導、視察研修会の開催による収穫量の増加に取り組んでいます。

また、量販店、県庁、栗原市民まつりでの展示即売、テレビ情報番組等での広報により、生産地のPRを行うとともに、7月3日から16日までの2週間、仙台市内飲食店でズッキーニ料理フェア「くりはらズッキーニウィーク」を開催して多くの方にズッキーニ料理を味わっていただきました。

ズッキーニは初心者でも取り組みやすい野菜です。ズッキーニ栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか。



生産者が集まり生育状況を検討



立派に育ったズッキーニ



大手量販店で栗原産ズッキーニをPR



くりはらズッキーニウィークで提供された料理

■お問い合わせ 農業振興部地域農業班 Tel : 0228-22-9437

若柳大橋・川南高架橋の耐震化工事等を進めています！

北部土木事務所栗原地域事務所

栗原市若柳管内の県道有壁若柳線に位置する、迫川に架かる若柳大橋（橋長116.4m）と隣接する川南高架橋（橋長129.1m）は、共に30年以上経過した宮城県管理の橋梁です。

この県道は、災害時において緊急避難及び物資供給等の緊急車両が通行する、緊急輸送道路に指定されています。

宮城県では、緊急輸送道路に架かる橋梁について、老朽化や大規模地震の発生に備えるため、落橋や倒壊の防止対策としての「耐震補強」、また、定期的に橋梁の状態を調査し、補修等により延命化するための「長寿命化」を計画的に進めております。

この計画に基づいて若柳大橋と川南高架橋の2橋の耐震化工事等に着手しており、令和3年3月の完成を目指しています。

現在は、橋梁の下で工事を行っていますが、今後は交通規制を行いながら工事をしますので、ご協力をお願いします。



若柳大橋全景



施工状況 1



施工状況 2

■お問い合わせ 道路管理班 Tel : 0228-22-2179

「国土強靱化」河川の支障木撤去を行います

北部土木事務所栗原地域事務所

栗原市を縦断するように流れる迫川、二迫川、三迫川では、繁茂した立木や笹竹により河川の流下能力が阻害されており、近年、豪雨の発生頻度も多くなっていることから、これらの流下阻害箇所を早期に解消していく必要があります。

この度、国の「防災・減災及び国土強靱化のための緊急対策」事業を活用し、これらの河川において、支障木の撤去を行うこととなりました。近隣住民の方々には、工事用車両の通過や騒音等でご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

工事予定期間：令和元年8月～令和2年3月

工事予定範囲：迫川 三迫川合流部等
二迫川 芋埴川合流部等
三迫川 達田橋より上流部



支障木撤去予定箇所
(二迫川、防等橋付近)

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

「道路クリーンキャンペーン」を実施しました

北部土木事務所栗原地域事務所

国土交通省では、8月を「道路ふれあい月間」と定め、道路を利用する方々が道路の役割や重要性を認識し、常に美しく安全に利用していただくため、各種啓発活動を全国的に実施しています。

当事務所では、この取組の一環として、8月7日（水）に宮城県建設業協会栗原支部の皆様と一緒に約100名が参加し「道路クリーンキャンペーン」を実施しました。

このキャンペーンでは、市内の県が管理する道路や歩道において、ペットボトルや空き缶拾いなどの清掃活動を行ったほか、国道398号沿いではドライバーにチラシを配布し、道路の正しい利用を呼びかける街頭活動も行いました。

皆様も身近な社会資本である道路に関心を持っていただくとともに、美しく安全に利用していただくようよろしくお願いいたします。



道路の清掃活動



道路の正しい利用を呼びかけ

■お問い合わせ 行政班 Tel：0228-22-2174

2019年夏休み！親子現場見学会を実施しました

北部土木事務所栗原地域事務所

「将来の建設産業を担う人材の確保・育成」の取組の一環として、普段立入ることのできない工事現場における見学や体験等を通じて、「ものづくり」の楽しさを体感し、建設業への関心や理解を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に「親子見学会」を開催しました。

栗原管内では、「迫川河道掘削工事（その2）」の工事現場を会場に、14組32名の親子に参加いただき、測量機器によるゲームや建設機械への搭乗、ドローンの操縦などを体験し、楽しんでもらいました。

真夏日の中での見学会となり、熱中症が心配でしたが、子ども達は元気いっぱいに見学会を楽しんでいました。また、あまりの暑さでドローンに不具合が生じてしまい、集合写真が綺麗に撮れていないというアクシデントもありました。次回は対策を検討していきたいと思います。

参加いただいた皆様、ありがとうございました。



ドローンによる記念撮影

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

農地集積担当者研修会を開催しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、農地整備事業を実施している地区や、今後の実施を計画している地区において、農地整備と併せた効率的な農業経営が図られるようにするため、担い手への農地集積を支援しています。

令和元年7月16日、当管内の市及び土地改良区、農業委員会、JA等農地集積担当者計42人参加のもと、令和元年度農地集積担当者研修会を開催しました。

研修会は、農業振興部担当の「農地集積と農地中間管理事業について」、農業農村整備部担当の「農地整備事業の実施状況と農地集積について」をテーマとした2部構成とし、県及びみやぎ農業振興公社の担当者から概要の説明と、県内取組事例の紹介を行いました。参加者は熱心に聞き入り、また、活発な意見交換もなされ、情報共有の場として有意義な研修会となりました。

当事務所は、今後も、関係機関・団体が情報を共有し担い手への農地集積を図ることができるよう、事業の推進に取り組んでまいります。



研修会の様子

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel : 0228-22-2398

保育従事者を対象に「感染症対応研修会」を開催しました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所（栗原保健所）

子どもが感染症に感染すると、少量の菌やウイルス量で重症化しやすい上、集団感染を起こしやすいことから、栗原地区地域医療対策委員会、栗原市幼稚園教育研究会、栗原保健所の主催で、令和元年7月30日、栗原市立志波姫幼稚園を会場に、保育従事者を対象とした感染症対応研修会を開催しました。

29人が参加した研修会では、栗原市立栗原中央病院感染管理室 感染管理認定看護師 上野賀子氏から、「感染症からこどもたちを守ろう ～ノロウイルスを中心に～」と題した講演と、模擬の嘔吐物を使った、嘔吐物処理を実演していただきました。

講師のデモンストレーションの後、参加者の皆様には、6つのグループにわかれ、嘔吐物処理を実際に体験していただきました。

参加者からは、「嘔吐物が飛散する距離に驚いた」、「自施設における嘔吐物処理の物品やマニュアルを見直したい」等、前向きな感想が寄せられました。



熱心に聴講する参加者の皆様



嘔吐物処理デモンストレーション



蛍光塗料を混合させた
模擬嘔吐物の飛散距離を観察

■お問い合わせ 地域保健福祉部疾病対策班 Tel : 0228-22-2117

くりこま夜市で苔テラリウムを販売しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当所林業振興部では、2年前から栗原地域の「苔」特産化に向け、苔栽培や苔テラリウムづくりの講習会を行うなど、関心がある方達へ取組を呼びかけているところです。

こうした中、文字地区コミュニティ推進協議会員が苔テラリウムを製作し、8月10日の「くりこま夜市」へ出店しました。文字地区で栽培されたヤマゴケを主体としたテラリウムは、真夏の夜風の中で涼味をさそう風情が漂い、まずまずの売り上げとなりました。

同協議会では、6月にも「山の駅くりこま」に苔製品を出品していて、徐々に栗駒の特産として「苔」が知られるようになっていきます。当部では、今後とも関係者の栽培技術向上を図り、多様なニーズに応えられるよう「苔」への取組支援を継続して行く予定です。



くりこま夜市



販売された苔テラリウム

■お問い合わせ 林業振興部林業振興班 Tel : 0228-22-2381

ツール・ド・いちほさま2019が盛大に開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

8月18日、清々しい青空の下、「ツール・ド・いちほさま2019」が開催されました。このイベントは、自転車好きの有志が集まって実行委員会を結成し、栗原市に「サイクルツーリズム」を推進する契機とするために開催され、今年で2回目となります。

この日集まった250名は、一迫総合支所をスタートして、基本コース87km、ライトコース75kmをそれぞれに栗原の風景を楽しみながら走行しました。

途中、エイドステーションでは、そば団子やトマト、ジェラートなど地元の特産物を味わいながら、栗原の暑い夏のひとときを過ごしていました。



開会式



スタート地点



颯爽と走り出す選手



地方振興部の出店ブース

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

【観光情報】「2019 栗駒耕英岩魚祭」が開催されます

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市栗駒耕英地区は、日本イワナ養殖発祥の地として、昭和46年から岩魚の養殖、販売を行っており、「いわな養殖発祥の地」碑が建っています。名水で育ったイワナは、身の締りもよく、美味しく、栗駒を代表するブランド品です。現在、耕英地区4店舗で塩焼・刺身の他、独自の『岩魚丼』が食べられます。

その岩魚丼を食べ比べに栗駒耕英へ、いらっしゃいませんか。9月8日（日）、ハイルゲーム栗駒の駐車場にて、「2019 栗駒耕英岩魚祭」が開催され、4店舗で提供されている岩魚丼が一堂に会します。また、岩魚の塩焼きや高原野菜の販売のほか、小学生以下を対象とした『岩魚つかみ取り』などのイベントも開催されます。

この機会に、栗駒耕英の岩魚丼をお楽しみください。

【日時】9月8日（日）午前10時から午後3時

【場所】ハイルゲーム栗駒 駐車場

（栗原市栗駒沼倉耕英東50-1）



岩魚つかみ取りの様子

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

北部地方振興事務所栗原地域事務所

6月17日から8月19日までの間に農林産物32点の放射能検査を行い、すべてが食品の基準値（100ベクレル/kg）以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は、計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

平成30年11月13日付けでくさそてつ（こごみ）の、平成31年2月14日付けで旧一迫町のたけのこの出荷制限が解除されました。

栗原市産のこしあぶら、たらのめ(野生)、野生きのこの3品目の山菜類については、引き続き出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

(また、原木しいたけ(露地)及びたけのこは出荷制限、原木ムキタケは出荷自粛が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは林業振興部にお問い合わせください。)

☆放射能検査の測定値が基準値以下であったもの(6/17~8/19)

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
キャベツ	—	◎	たけのこ(4点)	—	—	◎
キュウリ(3点)	◎	◎				
じゃがいも(2点)	—	◎				
ズッキーニ(8点)	◎	◎				
スナップエンドウ(2点)	—	◎				
たまねぎ(2点)	—	◎				
トマト(2点)	◎	◎				
ナス(2点)	—	◎				
にんじん(2点)	—	◎				
白菜	—	◎				
ピーマン	—	◎				
ブロッコリー	—	◎				
レタス	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省HPをご覧ください
(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

e-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>